

## 米国原子力軍艦寄港に伴う放射能調査について

沖縄県には多くの米軍基地が存在し、その内の1つである勝連町のホワイトビーチに原子力軍艦が寄港します。

そのほか、日本国内には神奈川県横須賀市の横須賀港、長崎県佐世保市の佐世保港に寄港が認められています。

沖縄県は寄港地周辺住民の安全を確保するために放射能監視調査を日本国政府（文部科学省）と協力して行っています。この調査は原子力軍艦が入港した場合の寄港時調査と、それ以外の非寄港時調査に分けられます。

### ○非寄港時調査

寄港地や周辺地域のバックグラウンドレベルを測定するため、米軍基地のホワイトビーチ内に海水系3基、空間系2基のモニタリングポスト、そしてガラス線量計・熱蛍光線量計(TLD)を組み合わせたモニタリングポイントを8カ所に設置しています。さらに米軍基地に隣接する居住区として平敷屋公民館敷地と与那城町の文部科学省沖縄支所に空間系のモニタリングポスト、モニタリングポイントをそれぞれ各1基及び1カ所ずつ設置

しています。

モニタリングポストは常時空間及び海水中の放射線量を連続的に記録しており、ガラス線量計・TLDは一定期間の空間放射線の積算線量を測定します。

### ○寄港時調査

調査は外務省から原子力軍艦入港通知を受けた後から出港した翌日まで、沖縄県と文部科学省で調査班を組んで行います。内容はモニタリングポストによる空間及び海水中の放射線レベルを常時監視し異常値がないかどうか、また寄港地の海水を汲んできて、ガンマ線スペクトロメトリーを測定し原子力軍艦の放射性物質漏洩がないかどうか調べます。異常値を観測した場合、その原因を追究するとともに、放射能レベル、拡散状況を掌握し周辺住民の安全確保のための対策を講じることになっています。

### ○寄港回数

復帰後、昭和47年5月から平成13年1月現在までの原子力軍艦の寄港回数は巡洋艦が4隻、潜水艦が162隻の合計166隻です。

## 原子力軍艦寄港回数

